

# 報告

## 平成 25 年度 東北支部研究会 報告

亀谷 收（東北支部長・国立天文台水沢 VLBI 観測所）

### 1. はじめに

平成 25 年度東北支部研究会は、福島県での開催になりました。平成 26 年 1 月 25 日（土）午後～26 日（日）午前の日程で 2 日間にわたり、郡山市ふれあい科学館共催のもと、郡山市ふれあい科学館における開催となりました。



図 1 参加者の全体写真（一日目）



図 2 参加者の全体写真（二日目）

この時期の開催は、忙しい方が多く、1 日だけの参加の方も多くいらっしゃいましたが、両日を通しての参加者は 43 名で、楽しく活発な意見交換がなされました。図 1 と図 2 にそれぞれ一日目と二日目の写真をお示しします。参加者の微妙な違いをお楽しみください。

発表は 13 件（うち招待講演 1 件）でした。東北地方は、互いにアクセスに時間が掛かり、移動が容易ではないため、例年、開催県中心に参加者が集まる傾向があります。今回は、地元郡山のふれあい科学館に関わる方が多数参加され、近年にない多数の参加となりました。また、遠くは熊本から参加された白鳥さんもおられました。

### 2. プログラム

第 1 日目（平成 26 年 1 月 25 日、土曜日）

- ・午後 1 時 30 分 開会および自己紹介
- ・午後 2 時  
記念講演「会津大学における宇宙教育」  
講師：寺菌 淳也さん（会津大学）
- ・午後 3 時 30 分 実践報告・研究発表（発表時間 20 分：質疑含む）座長：荒木田さん  
発表タイトル 発表者（敬称略）
  - ・アジアで初めての海外からのアウトリーチ活動 PULSE@Parkes について  
亀谷 收（国立天文台水沢 VLBI 観測所）  
水谷 有宏（郡山市ふれあい科学館）
  - ・サイエンスカフェ『星カフェみやぎ座』は、宮城県仙台市に“星好き”を増やすことができるか？  
比嘉 義裕（ひが企画、仙台天文同好会）
  - ・ふくしまの宇宙（そら）プロジェクト  
佐藤 理絵
  - ・放射線教育における天文学の活用について  
齋藤 正一（スペースパークボランティアの会）
  - ・生徒とともに宇宙を楽しむ  
北川 達彦（那須高原海城中学校・高等学校）

- ・アイソン彗星の観測と新聞報道  
酒井 栄

- ・午後 5 時 30 分 第 1 日目終了
- ・午後 6 時 30 分 懇親会 (会場：会津郷土食 鶴我)

### 第 2 日目 (1 月 26 日、日曜日)

- ・午前 9 時 30 分 実践報告・研究発表 (発表時間 20 分：質疑含む) 座長：寺菌さん  
発表タイトル 発表者 (敬称略)
- ・暦のある授業  
白鳥 裕 (東海大学 総合教育センター (天文学教室))
- ・スペースガード探偵団  
豊川 光雄 (日本スペースガード協会)
- ・国立天文台水沢地区の広報普及活動と田中館愛橋と思われた写真の誤りについて  
亀谷 収 (国立天文台水沢 VLBI 観測所)
- ・天文教育小道具あれこれ  
伊藤 芳春 (宮城広瀬高等学校)
- ・宮教大天体ライブ観察システムの紹介  
高田 淑子 (宮城教育大学)
- ・天文教育普及研究会の Web ページを活用しよう 安藤 享平 (天文教育普及研究会 Web 委員)
- ・午前 12 時 閉会

### 3. 招待講演

福島県での久々の開催ということもあり、講師として福島県立会津大学で活躍されている寺菌淳也さんをお願いし、「会津大学における宇宙教育」という題でご講演をいただきました (図 3)。コンピュータサイエンスを研究と教育の中心に据えて英語で授業を行う会津大学の教育内容の中で宇宙教育をどの様に行っているのか、さらには、地元の子供達にどの様な関わりをしているのか、具体的に熱く語っていただきました。会津がとても身近に感じました。色々な質問にも寺菌さんは丁寧

に答えられていました。



図3 招待講演の様子

### 4. 一般発表

東北支部の会員の発表を中心に、12 件の発表がありました (図 4)。大学や中学高校教育の実践例の紹介から、一般対象のサイエンスカフェの実践の様子を紹介、アイソン彗星の観測と新聞報道の実際報告等と、天文教育普及研究会ならではの幅広い内容の報告がされ、それぞれ、とても多くの質疑応答が活発にされました。それぞれの発表は、今後の参加者の活動にとっても参考になったと思います。



図4 一般講演の様子

### 5. 懇親会と終了後の見学会

懇親会は、地元の会津料理店で行われました。お膳で出された会津料理に舌づつみを打ちながら、NHK 大河ドラマの八重の桜の主人公もこんな料理を食べたのかなどと思いな

がら、皆様、懇談を楽しんでいました。

二日目終了後には、郡山市ふれあい科学館のご好意で、プラネタリウムや展示室を見せていただくことができました。プラネタリウム上映は、既存の上映プログラムを流すのではなく、解説者が観客の様子を見ながら、わかり易い語り口で説明されました。デジタルとアナログのプラネタリウムを駆使して上映していただいた星の話は、とても印象に残りました。地面からもっとも高いところにあるプラネタリウムと展示室から眺められる郡山の風景自体がとてもすばらしい展示でした(図5)。



図5 会場の様子と窓の外の見晴らし

## 6. おわりに

今回の発表されたスライドのうち、ご本人のご了解を得られたものにつきましては、以下のURLでご覧になることができます。

<http://tenkyo.net/shibu/tohoku/h25tohoku.html>

本東北支部研究会は東北6県の会員持ち回りで毎年1回ずつ行っています。来年度は秋口に山形県開催を検討し始めています。次回も多数の皆様のご参加を期待しております。

最後に、今回の東北支部研究会を開催するにあたり、大変お忙しい中、郡山市ふれあい科学館の皆様、特に現地世話人の安藤さんには、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

亀谷 収

\* \* \* \* \*